

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371300738
事業所名	グループホーム ハピネス守山

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 毎日、職員と利用者が近隣を散歩しており、地域の人と顔馴染みとなり談笑したり庭の草花をもらったりしている。また、ホームに遊びに来てくれる人もいる。町内会に入会して町内の祭りに参加したり、地域の人から介護に関する相談を受けて助言する事もある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回開催している。町内会長、民生委員、いきいき支援センター職員、医師などの参加がある。町内会長から、地域の防災に関する話などがあり、ホームとして参加できる事は積極的に参加している。また、会議の中で職員が認知症についての事例を交えて話し、認知症を理解してもらえるよう努めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区役所の保護課の職員が年数回ホームに来訪して利用者の暮らしぶりを見たり、介護保険課に職員が利用者の事を相談しており連携は図られている。市主催の計画作成者研修に職員は参加している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 毎月1回は、ハピネス通信に利用者の日常の様子がわかるコメントを書いて家族に送付している。家族が来訪した折や介護計画作成時に要望を聞いている。家族からの提案で、近隣のバラ園を教えて貰いレクリエーションを計画するなど、家族の意見は真摯に受け止めて改善している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域とのつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。